# 経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県　桐生市

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|---|---|---|---|---|
| 法適用 | 水道事業 | 末端給水事業 | A3 | 非設置 |
| **資金不足比率(%)** | **自己資本構成比率(%)** | **普及率(%)** | **1か月20m³当たり家庭料金(円)** | |
| - | 74.32 | 99.79 | 2,585 | |

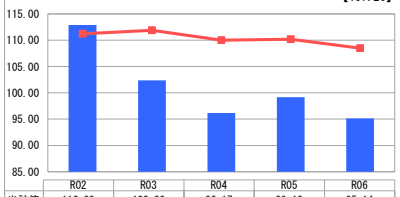
| 人口（人） | 面積(km²) | 人口密度(人/km²) |
|---|---|---|
| 101,185 | 274.45 | 368.68 |
| **現在給水人口(人)** | **給水区域面積(km²)** | **給水人口密度(人/km²)** |
| 100,300 | 95.04 | 1,055.35 |

**グラフ凡例**
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性

### ①経常収支比率(%)

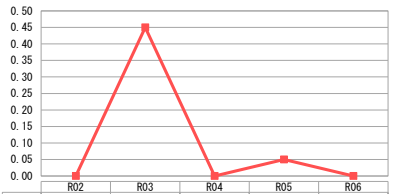
【107.26】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 112.88 | 102.36 | 96.17 | 99.18 | 95.14 |
| 平均値 | 111.21 | 111.89 | 109.99 | 110.20 | 108.49 |

### ②累積欠損金比率(%)

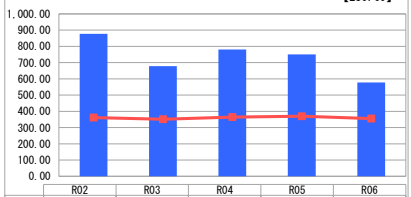
【1.61】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 平均値 | 0.00 | 0.45 | 0.00 | 0.05 | 0.00 |

### ③流動比率(%)

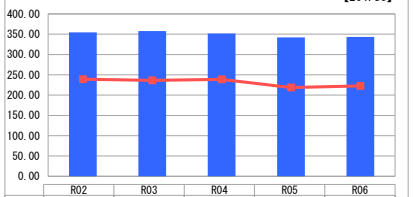
【239.69】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 877.42 | 678.24 | 780.37 | 750.69 | 577.30 |
| 平均値 | 360.96 | 351.29 | 364.24 | 369.82 | 355.75 |

### ④企業債残高対給水収益比率(%)

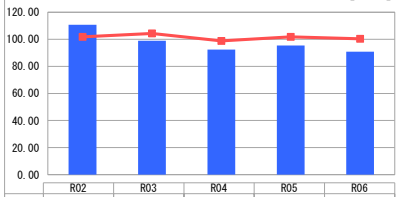
【264.86】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 354.62 | 357.65 | 351.85 | 342.17 | 343.22 |
| 平均値 | 239.18 | 236.29 | 238.77 | 218.57 | 222.45 |

### ⑤料金回収率(%)

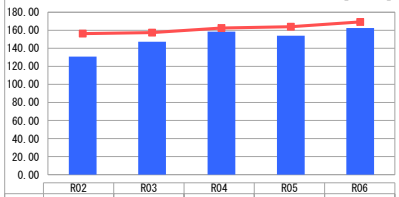
【97.59】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 110.75 | 98.95 | 92.38 | 95.42 | 90.82 |
| 平均値 | 101.89 | 104.33 | 98.85 | 101.78 | 100.33 |

### ⑥給水原価(円)

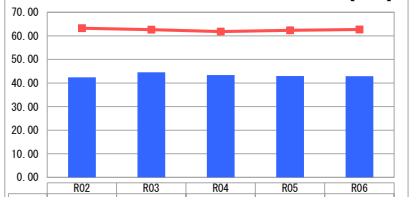
【181.66】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 130.77 | 147.26 | 158.59 | 154.08 | 162.46 |
| 平均値 | 156.32 | 157.40 | 162.61 | 163.94 | 169.31 |

### ⑦施設利用率(%)

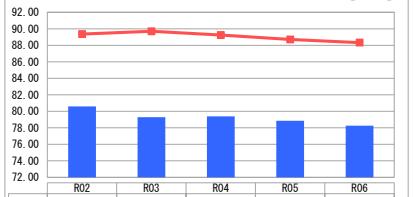
【60.21】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 42.44 | 44.53 | 43.36 | 42.97 | 42.89 |
| 平均値 | 63.23 | 62.59 | 61.81 | 62.35 | 62.69 |

### ⑧有収率(%)

【89.21】

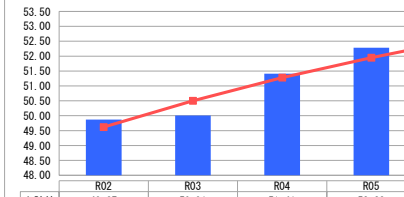


| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 80.60 | 79.28 | 79.38 | 78.85 | 78.27 |
| 平均値 | 89.35 | 89.70 | 89.24 | 88.71 | 88.32 |

## 2. 老朽化の状況

### ①有形固定資産減価償却率(%)

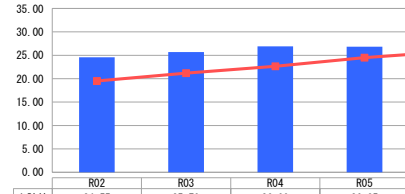
【52.41】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 49.87 | 50.01 | 51.41 | 52.28 | 52.77 |
| 平均値 | 49.62 | 50.50 | 51.28 | 51.95 | 52.55 |

### ②管路経年化率(%)

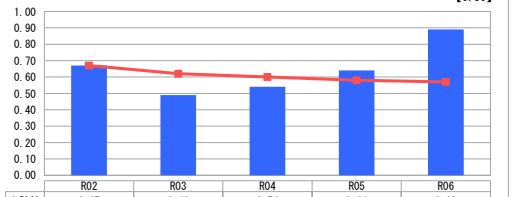
【26.78】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 24.55 | 25.70 | 26.90 | 26.85 | 29.90 |
| 平均値 | 19.51 | 21.19 | 22.64 | 24.49 | 25.85 |

### ③管路更新率(%)

【0.59】



| | R02 | R03 | R04 | R05 | R06 |
|---|---|---|---|---|---|
| 当該値 | 0.67 | 0.49 | 0.54 | 0.64 | 0.89 |
| 平均値 | 0.67 | 0.62 | 0.60 | 0.58 | 0.57 |

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率
有収水量の減少に伴う給水収益の減少及び物価上昇に伴う各種費用増加による営業費用の増加により、健全経営の水準とされる100%を下回る結果となった。引き続き経営の効率化を図るとともに適正な料金収入について検討する必要がある。
③流動比率
流動負債及び投資費用の増加により、現金が減少し、当該値は減少したものの、平均値と比較しても依然高い水準を推移しており、短期の債務に対しての支払い能力がある。
④企業債残高対給水収益比率
企業債残高は微減したが、給水収益も減少したため、上昇した。今後も給水収益の減少と老朽施設の更新費用の増加が見込まれるため、企業債残高減少の対策を講じ、借入と償還の均衡を図る必要がある。
⑤料金回収率　⑥給水原価
給水収益の減少及び物価上昇に伴う各種費用増加による営業費用の増加により悪化が進んでいる状況であり、費用を給水収益で賄えていないため、更なる経営の健全化を目指すとともに適正な料金収入について検討する必要がある。
⑦施設利用率
平均値を下回るため、効率的な施設運用のために、引き続きﾀﾞｳﾝｻｲｼﾞﾝｸﾞや施設の統廃合を検討する。
⑧有収率
平均値を大幅に下回るのは地形的要素も要因の1つであると考えられるが、引き続き漏水の早期発見と要因判明に向けた調査を実施するとともに、衛星調査等の先進事例を研究し、数値改善に努める。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率や②管路経年化率が示すように、依然として耐用年数を経過した老朽管が多いことがわかる。また、③管路更新率については、前年より増加したものの、更新設計を行う技術職員の人員不足が懸念されることから、新たな更新手法の導入についても検討していく必要がある。

### 全体総括

経常収支比率や料金回収率等の健全性を示す指標は悪化しているが、流動比率は依然として良好な数値を示しており、当年度の収支を内部留保資金で賄っている状況である。
また、令和7年度以降も、労務単価の上昇による委託費用の増加や物価高騰による材料費の増加等が懸念されるため、当分は内部留保資金に頼った事業運営が強いられる。
このような状況から、「桐生市水道事業経営戦略」に基づき、施設のﾀﾞｳﾝｻｲｼﾞﾝｸﾞ等水運用の見直しや適正な水道料金の研究等、収支ギャップ解消のための施策を迅速に実施し、持続可能な事業運営を目指していきたい。